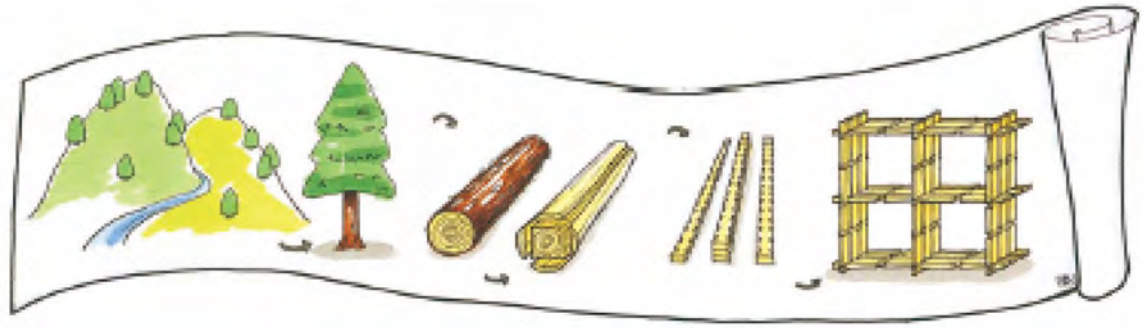


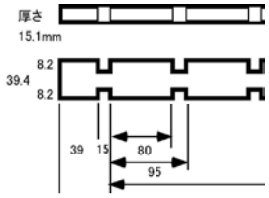
組手什（クテジュウ）取扱説明書

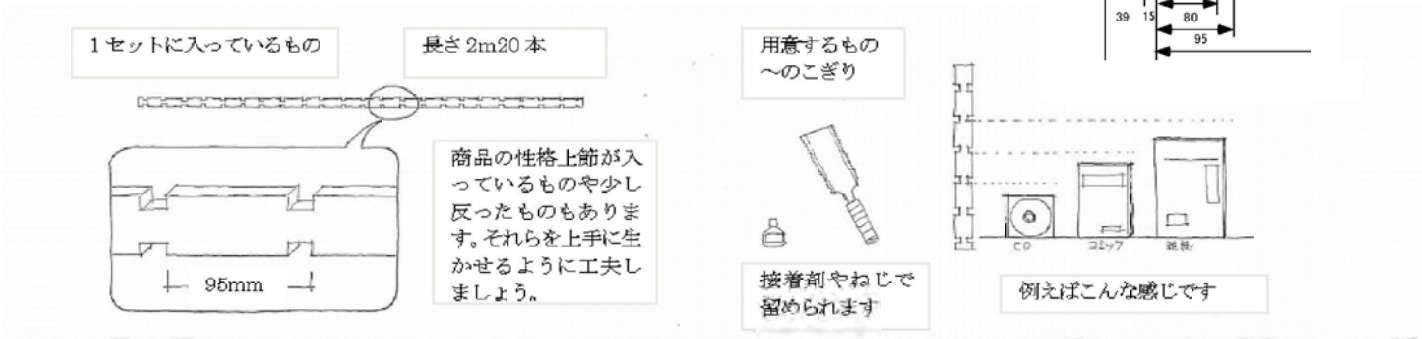
組手什のお買い上げを、ありがとうございました。

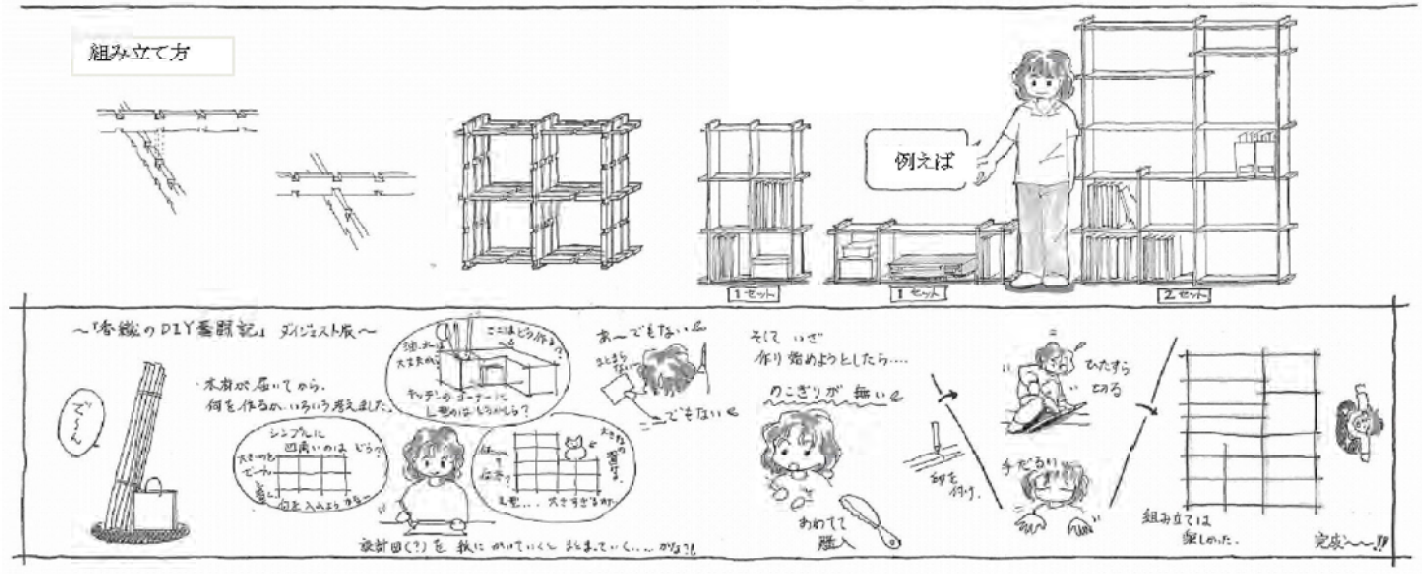
この組手什は、都市の家庭やオフィスと、水源の森と村をつなぐ架け橋です。

都市の暮らしの中で木の感触や香りを楽しみながら、のこぎりを使った簡単な日曜大工で家庭やオフィスに潤い青与えます。また、支払われた代金の一部が直接森づくりに支援され、地域通貨により山村経済を活性化させるというようにさまざまな効果があります。

さあ、何よりもまず、図のように楽しみながら組み立てて下さい。







組手什おかげまわし東海～

〒450－0001　名古屋市中村区那古野1丁目44-17　嶋田ビル203号

E-mail ：　9de10.tohkai@gmail.com　FAX　052-581-8161

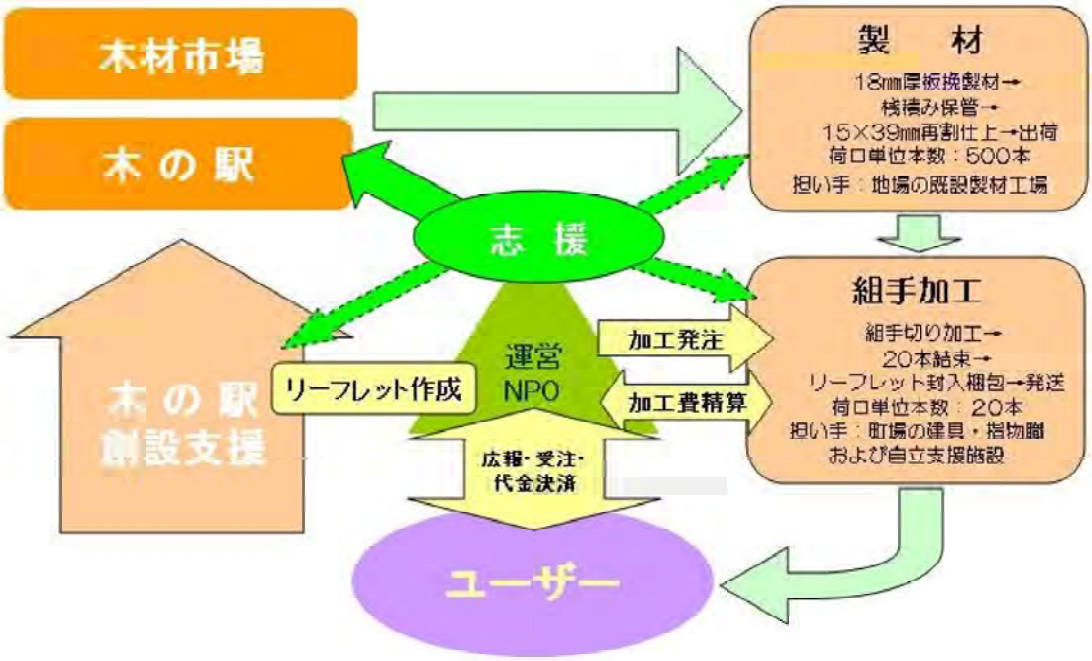
URL　http://9de10tohkai.web.fc2.com/

（名古屋駅から徒歩15分、国際センタービルより一筋東側、組手什による木装化を見て下さい。）

趣　旨

- 保続可能な未活用地域資源の利用を促進する木遣い製品「組手什」の生産・加工・利用を通じ、地域循環システムの構築を目指す。
- このための流通システム「おかげまわし」により、売上代金の一部(約5%)を木の駅素材出荷者への直接支払や持続可能な地域産業の仕組みづくりに還元する。
- この趣旨に賛同する者なら、各工程への参入は妨げない。
- 出荷製品の梱包には、取扱説明書、趣旨等とともに産地、加工事業者を明示したものを封入・添付する。
- 各地域における「おかげまわし」の運営は、趣旨に賛同し、かつ創案者会議が認定した非営利活動団体が行う。

おかげまわし　仕組み図



組手什の材料長さは2.0mを原則とする／価格は1束20本入り10,000円（税別）とする／宅配（送料は実費購入者負担）を原則とする／志援率は製品売上の5%を原則とする／志援金は素材出荷者への直接支払いに充てることを原則とする。その部分をこの事業に携わる人材育成等に充てることも可とする／地域ごとの「おかげまわし」運営組織は志援金の会計収支について要請があれば志援者の閲覧に応じなければならない／「おかげまわし」の各工程に従事する事業者は、志に基づいた民主的合議のもとで、各工程単価を設定するものとする。

語彙解説

組手：

クデと読みます。 組手」と書いて クデ」と読ませるのは、木工に携わってきた職人ことばのようです。双方に切り欠きを施し、互いをかみあわせることで、木材の本性特性である粘り強さを活かし、欠点とされる 反り・捻じれ・曲がり』を補正することにあります。

木の駅

規格に捕らわれずに気楽に林地残材や間伐材を出荷できるという、農産物でやっている 道の駅」の間伐材版。1トン3000円の相場では出荷できないため、トン辺り2～3000円を上乗せして、地域でしか使えない地域通貨で支払うことで、合わせて山村の活性化を図ります。森も村もどちらも元気になるシステムです。1セットから500円が木の駅に支援されます。

什：

ジュウと読みます。今日では使われなくなってしまいましたが、什器とは日常生活で用いられる身の回りの道具のことで、家具ばかりではなく、食器なども指していたようです。

会津藩における藩士に、子弟を教育する組織名にも、 什』が用いられていたそうです。 人』と 十』という二画文字を組み合わせた漢字のつくりに、 人々が交わり、長所を活かし、短所を補う』、という意が込められていたのでしょう。